

ちかひ

2013

正月号

VOL.136

浄土宗西山深草派宗務所

総本山 誓願寺

謹賀新年

◆ 目次 ◆

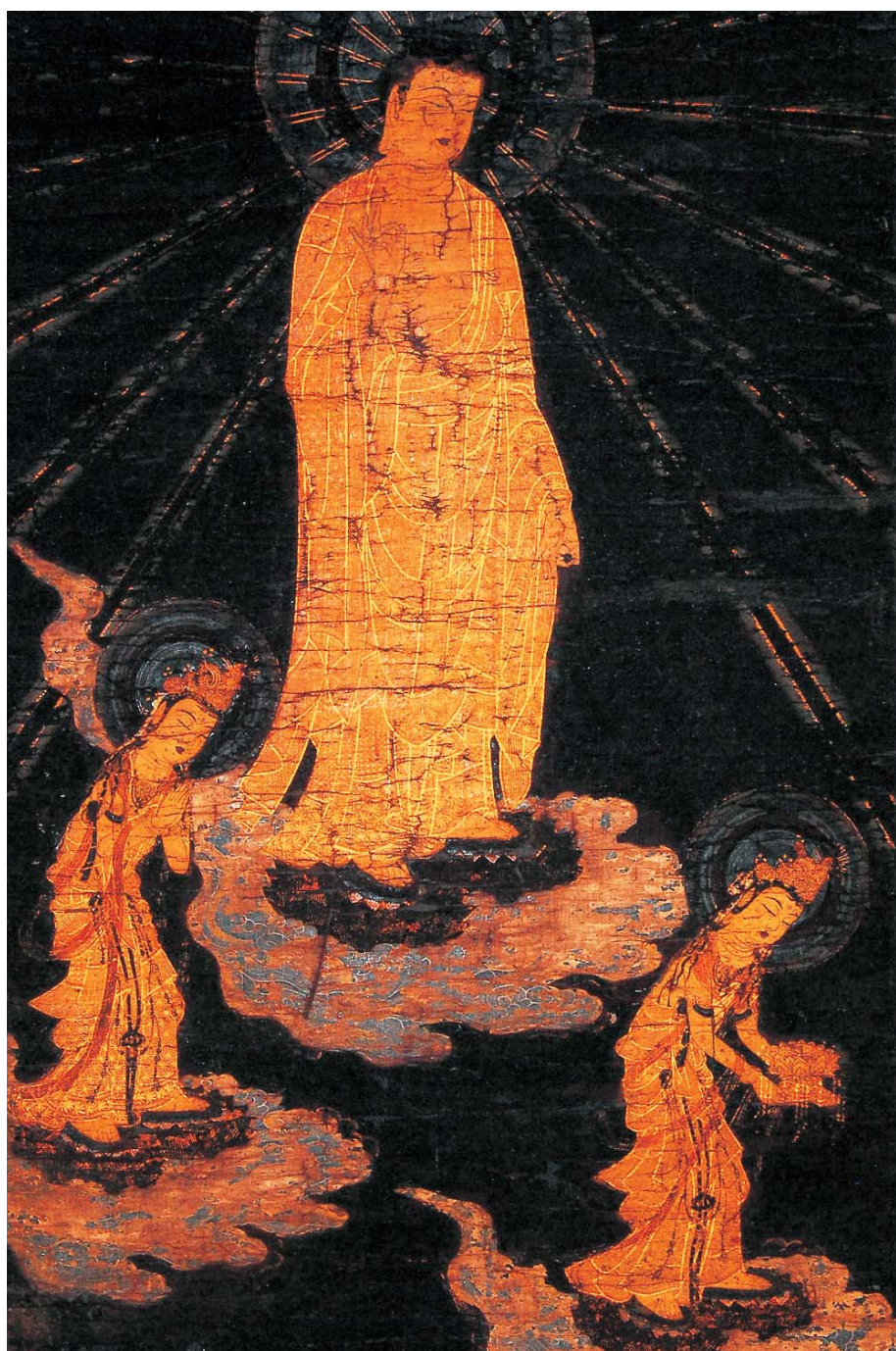
- 新春を迎えて
- 慈光 〈第22回〉
- お釈迦さまのご生涯 9
- 賢問子行状記 ⑥

- インド **ドタバタ** 夫婦道中記 ③⑩
- 総本山誓願寺だより
- 何でも〴〵お寺探偵団 Vol. 34

應聲山即現院 阿弥陀寺

◆ 絹本着色阿弥陀三尊来迎図
けんぼんちやくしよくあみたさんぞんらいこうず

伝恵心僧都筆 総本山誓願寺蔵 ◆

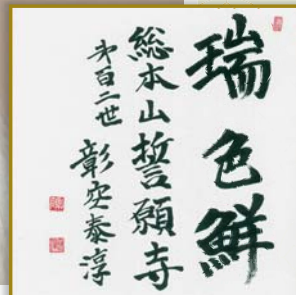




新春を迎えて

浄土宗西山深草派管長
総本山誓願寺 法主

井ノ口 泰淳



謹賀新年

皆様には、それぞれ御機嫌宜しゅう新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

私こと卒寿を迎えましたが何分老齢の事として心身共に衰えを自覚しつつも、日々の法務に精励致して居ます。

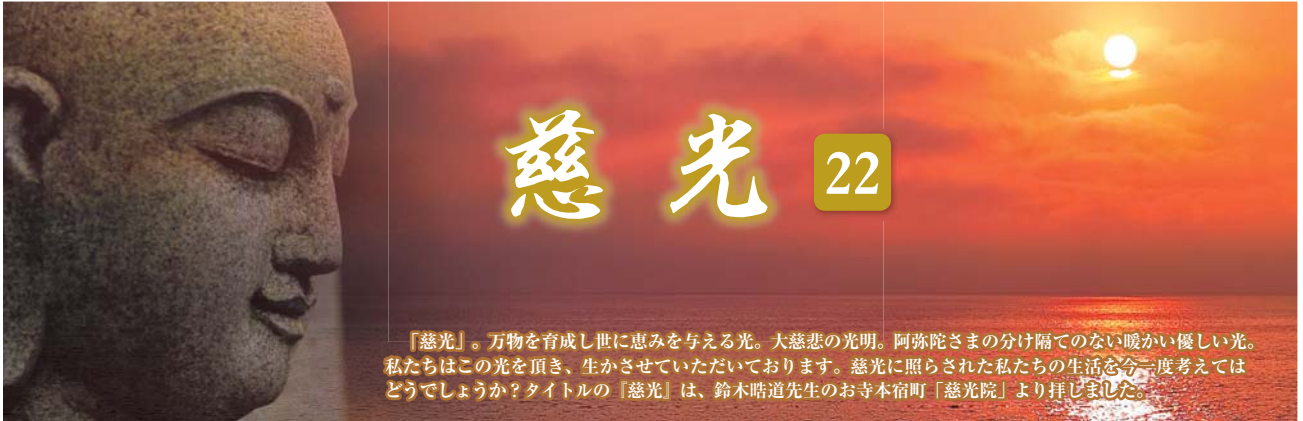
本年十月十二日より十六日にかけての五日間、総本山誓願寺を会所として曼荼羅伝法の相承が予定されております。私も傳燈師としての大役を果たすべく、心身の準備を整えて居ります。

曼荼羅相承は数年毎に西山三派の本山交互に修行される大法儀であります。此の度も無障礙に円成し度いものと念願致して居ります。無事円成致しますよう御支持の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

また、本年度末には、私こと三期十五年の永い期間大過なく大役を勤め得ますこと、佛祖の御加護と皆様方の御支持のおかげと感謝致して居ります。新年の御挨拶に添えて一言素懷を申し上げます。

平成二十五年 元旦
総本山誓願寺 第百二世
彰空泰淳 識

※井ノ口法主御染筆の色紙を抽選で1名の方に差し上げます。詳しくは7ページをご覧ください。



「慈光」。万物を育成し世に恵みを与える光。大慈悲の光明。阿弥陀さまの分け隔てのない暖かい優しい光。私たちはこの光を頂き、生かさせていただいております。慈光に照らされた私たちの生活を今一度考えてはどうでしょうか？タイトルの「慈光」は、鈴木皓道先生のお寺本宿町「慈光院」より拝借しました。

【逝き人の供養を】

昭和三十年七月二十八日、三重県安濃川あのがわの河口かこうで水泳中の中学生、先生の四十九人に水難事故がありました。うち三十六人が帰らぬ人となりました。

五十年余り前の出来事です。年配の方は思い出してください。

この事故には、さらに遡さかのぼらねばならない因縁があるのです。

昭和二十年七月二十四日二十八日の両日、津の町の家々は米軍の空襲によって焼かれました。

津の警察署の地下留置所には、ここなら焼夷弾しょういだんもあたらないだろうと多くの方が逃げ込みました。

しかし、火災による一酸

化炭素により二五〇名を超える方がこの留置所で亡くなりました。三十六名の方が身元の引き取り手が無く、人骨は安濃川河口の海岸に埋められました。おそらく丁寧な供養がされなかったことでしょう。

数年後、この地方をおそった台風によって、人骨が現れました。身よりの無い方たちのものです。その骨を拾い集め、あろう事かすぐ傍そばの海へ捨ててしまったのです。

そして、空襲から十年後のちょうどその日に、子どもたちに災難がふりかかりました。救助された生徒の話によると

「戦争時代の服を着た人が、海の底から私の足を引っ張りました。そう思ううちに

溺れてしまいました。」

誰が悪いと言うことではなく、当時としては致し方なかったのです。

この出来事は、逝き人の供養の大切さを教えていると思います。

逝き人の為に念佛廻ねんぶつえ向すれば、佛はその人を照らし給うたま

とお経さまに説かれてあります。供養と同時に、自分自身の心の浄化でもあります。

どんな形、如何なる時、ささやかでも、供養の心を持ち合わせて下さい。

この事故で逝った多くの人々に細やかではあります。が追善の心を表して止筆致します。

布教講習所 所長 鈴木 皓道
慈光院 住職



お釈迦さまにお願いをする梵天

文・釈尊法話会 絵・豆田 織奈

お釈迦さまのご生涯 9

梵天勸請

縁起えんぎの理法りほうを覚おぼつたゴータマ（お釈迦さま）は仏陀ブツダ（仏さま、目覚めた人）となられ、解脱げだつの喜びを享受きやうじゆしていました。

「このまま涅槃ねはんに入れば私は幸せだろう。何も言うことはない」と考え、食事しょじも取らず、口に水を含ませることもなく、ただただ菩提樹ぼだいじゆの下で瞑想めいさうをしていました。その様子を見たのが神々の王である梵天ぼんてんです。

「このままお釈迦さまが涅槃にお入りになされると、世の中の人々が救われる道が閉ざされる。何とかしないと！」

そう考えた梵天は、すぐさまお釈迦さまの元に現れ、言いました。「貴方がお覚りになられた縁起の

理法をどうか世の中の方にお説き下さい。そうすれば皆が救われる道となるでしょう」

お釈迦さまは梵天の願いを聞き入れ、世の中の人々の為に自らが覚った縁起の理法を説くことを決めたのです。縁起の理法をまず誰に説いたら良いかを考えました。

「そうだ、アーラーラ・カーラーマとウツダカ・ラーマプッタに縁起の理法を説こう。あの方々なら直ぐにご理解下さるはずだ」

お釈迦さまは神通力じんすうりきでアーラーラ・カーラーマとウツダカ・ラーマプッタの居る所を探しました。しかし既にアーラーラ・カーラーマは七日前に亡くなり、ウツダカ・ラーマプッタは昨日亡くなりました。この世に居ないことを知りました。「アーラーラ・カーラーマもウツダカ・ラーマプッタもこの世に居ない。最初に縁起の理法を誰に説いたらよいのか……」

とお釈迦さまはお考えになられました。

「そうだ。苦行林くぎやうりんで共に修行をした五人に縁起の理法を説こう。彼らなら必ず理解してくれるはずだ」

賢問子行状記

6

小島英裕

第四話

「唐にて賢問子の子が出生」

(前編)

賢問子が唐に残してきた妻・柳営女りゅうえいによは無事、玉のような美しい男の子を出産しました。しかし母には喜びの中に複雑な思いがありました。「子どもがかわいそうでならない。父は日本に住んでいる。大きくなって『父は?』と問われた時、何と答えよう」。

男の子はますます美しく成長しましたが、五歳になっても一言もしゃべりません。このような事は薬の力でも無理だろうと思い、仏法を守護する神々に「一度、この子に言葉を出させてください」と祈りました。

柳営女は以前、夫・賢問子が皇帝に

願い出て造ったという阿弥陀さまが、今も宮中にあると聞き「六年前、日本へ帰った賢問子の子が生まれて五歳になります。一言も物を言いません。父が造った仏さまへ一週間、参詣させてください」と役所に願い出ました。皇帝も不憫ふびんに思いお許しになりました。柳営女は喜び宮中へ一週間足を運び「他に何の願いもあります。この子の病を治し、人と話が出来るようにお願いします」と祈りました。

朝早くから、その日の夕暮れまで、子の手を引き「お前が幼いといってもよく聞いておくれ。この仏さまはお前の父が造った霊仏。手を合わせて拝むのだよ」と話しました。

けれど何の返事もない我が子の顔を見て、柳営女は声をあらげ「お前は母が言うことも聞こえない。どうしてお

前のような者が子として生れ、母を悲しませるのか」と、倒れ込みました。子も母を見て涙ぐみました。その姿を見て、柳営女の悲しさは一層増しました。「我が子よ、よく聞け。病を治してくださいと拝むんだよ。今日が最後の参詣なんだよ」と手を合わせ泣き悲しみました。するとどうしたことでしょう。子は手を合わせ「南無阿弥陀仏」と称えるではありませんか。

柳営女は初めての声に喜び「六字の名号を、もう一度」と言うと子は「南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏」と大声で唱えました。柳営女は手を合せ「御仏の御利益、一生忘れません」と言うと、子は喜び「母様早う、うちへ帰ろ」とはつきり言葉を出しました。

この前代未聞の不思議な出来事は世間に広まりました。(つづく)



『総本山誓願寺名号額
遊行上人筆』



東龍寺 住職 岩瀬 賢良

一カ所にゆつくりと…

二月二十四日朝九時十分、エローラ行きの日ツアー・バスは、途中でダウラターバード砦跡と、この辺りでは有名なしきヒンドゥー教寺院にも寄った。

八九年にエローラで、最後のジャイナ教の石窟寺院を見ながら、帰りはどうしようかと心配していたら、イギリス人の老夫婦が雇った車に運良く乗せてもらえ、帰りに立ち寄ったのがこの二カ所だった。

今では砦跡も有料になった。一〇〇ルピー又は二ドルと書いてあり、ドルの方が若干安いので二人分の四ドルを窓口にし出しした。ところが、窓口の男は、ドルは駄目だと言って受け付けない。理不尽な扱いをされ、お金を払ってまで入る程の場所でもないと思ひ、バスの所に引き返そうとした。

すると僕たちの前に並んでいたアメリカの若い黒人夫婦

は、僕たちのトラブルに気がつき、呼び止めた。僕たちは事の次第を話したところ、窓口の男に掛け合ってくれ、簡単にドルでいい事になり、四ドルを払い中に進むことができた。だが窓口の男の気分次第なのか、何を基準に判断しているのか、納得がいかないままだった。

十一時過ぎにエローラ石窟寺院群に着き、南の端にある仏教寺院群の前に集まってガイドの説明を聞いた後、窟院の中を見学した。

窟院は三十四窟あり、南から一十二窟が仏教、十三二十窟がヒンドゥー教、少し離れて北の端の三十三十窟がジャイナ教で山裾に掘られている。

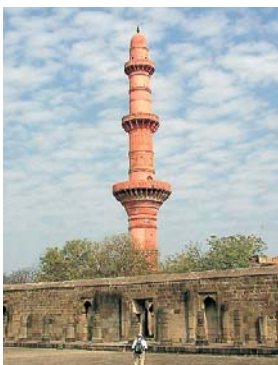
仏教寺院群を見た後集合し、他を圧倒する中央の第十六窟、ヒンドゥー教のカイラーサナータ寺院へと歩いた。唯一この寺院だけは入場料を取っていた。僕たちは入らずに、この寺院だけは中央部から空が見える造りなので、寺院の

横にある山道を登って行き、利子には上から内部を見下ろさせ、僕が説明をした。

昼食後、外の木陰でくつろいでいると、バナナ売りのおばさんが寄って来て、五本で一〇ルピー(約二五円)だと言うので買って食べたところ、予想以上の美味しさに僕たちは少し満足した。

ジャイナ教寺院群を見学し、帰りには一カ所ほど見学し、アウランガーバードのバス・スタンドに帰ったのは夕方五時半だった。

改めて僕は、型にはめられたバスツアーより、安くてノンビリとした路線バスに乗り、目的地を絞って自由にじつくりとその場に居るのが、より性分に合っているのだらうと思つた。



高さ60mの戦勝記念塔
チャーンド・ミナール
(ダウラターバード砦跡)

総本山誓願寺だより

「舍利殿」のご案内

総本山誓願寺に納骨のご精霊を回向する施設「舍利殿」が完成致しました。毎日この舍利殿でお勤めし、ご精霊の回向をさせて頂いております。舍利殿の仏具は当派各教区内寺院様・檀信徒の皆様からのご寄付によって揃えさせて頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます。皆様、誓願寺へお越しになられた際は是非「舍利殿」へお参り下さい。



おもな行事予定

- 一月
 - 二日(火) 修正会
 - 十五日(火) 六阿弥陀功德日
 - 二十四(木) 法然上人追慕念仏行脚
- 二月
 - 三日(日) 節分会
 - 八日(金) 六阿弥陀功德日
 - 十五日(金) 涅槃会
- 三月
 - 十四(木) 善導忌
 - 六阿弥陀功德日
 - 十七日(日)～二十三日(土) 春彼岸

クイズコーナー

【問題】

今回の『インドドタバタ夫婦道中記』で、お二人は、どこ行きの一日ツアーバスに乗ったのでしょうか？カタカナ四文字でお答え下さい。

○○○○ 行き

官製はがきに、答えと郵便番号、住所、氏名、菩提寺(だんな寺)、感想や質問を必ず書いて送ってください。その中より紙面に採用させて頂くことがあります。掲載時には、ハガキにてご本人にご連絡致します。名前の掲載の困る方は、その時にご返事下さい。今回は管長親下御染筆の色紙を一名、阿弥陀寺さまより特製お守りと千支根付を五名、本山謹製線香を五名の方に、合計十一名の方に抽選にて差し上げます。ご応募お待ちしております。

【宛先】〒四四四-三三三

岡崎市藤川町字中町南十五

稱名寺内 ちかい編集係

答え ○○○○
郵便番号
住所
氏名
菩提寺(だんな寺)
感想・質問等

【締切】一月三十日

(消印有効)

ちかい 第136号

発行日 平成二十五年一月一日
発行所 浄土宗西山深草派
総本山誓願寺

京都市中京区新京極桜之町四五番地
電話 (〇七五) 二二二-〇九五八
FAX (〇七五) 二二二-二〇一九
E-mail info@fukakusa.or.jp
URL http://www.fukakusa.or.jp

何でも

お寺探偵団

阿
弥
陀
寺
あ
み
だ
じ

Vol.34

南無



profile

お ぐり こう じん

小栗好人師 (阿弥陀寺 第35世) 昭和34年 (1959年) 生まれ

高校卒業後、会社勤務を経て、先代住職の体調不良を機にお寺に戻り、平成17年晋山。平成24年11月晋山式を挙行。

今回は岡崎市桜形町の「應
聲山 即現院 阿弥陀寺」を訪ね
ました。

Q1

お寺の由来を
教えてください。

天平9年(737)行基菩薩が諸国行脚の折に、当所に一字を建立し、大金谷山西福院と号し、観音様を安置しました。応永元年(1394)開山教空龍芸上人の弟子となった至空誠讃上人が住し、天台宗を改め浄土宗となり、應聲山即現院阿弥陀寺と改めました。明治19年(1886)特旨をもって永代斑金欄寺格を受け、次いで大正7年(1918)特旨をもって准檀林格地に認

定されました。

背後の山は弘法山と称し、32世仁空天裕上人が八十八体の弘法様を安置し、近隣檀信徒の信仰をあつめています。

Q2

お寺の宝物は
何ですか？

当寺には約600年にわたる過去帳(霊簿)があります。完全に保管されていることは、貴重な文化財と言えると思います。また、嘉吉元年(1441)8月10日、誠讃上人が願主となった岡崎市指定文化財の当麻曼荼羅や、江戸時代作の涅槃図などがあります。

Q3

「ちかい」読者に一言
をお願いします。

小学生の頃、体育館に「報恩」という額が掛かっていました。当時はその意味がよくわかっていませんでしたが、大人になり、住職となり、私は檀家さんを始め、地域の方々とたくさんの方に支えられていると日々感じています。晋山式をむかえ、少しでも皆さんに恩返しができるように日々の法務に勤めていきたいと思っています。

Q4

「ちかい」読者に
何か頂けませんか？

阿弥陀寺特製お守りと干支の根付を5名様に差し上げます。

【交通】

名鉄本線東岡崎駅下車
名鉄バス東岡崎駅発桜形線
「麻生」バス停下車徒歩6分

【主な行事】

御忌会	2月 第2日曜日
春彼岸会	彼岸中の日曜日
涅槃会、弘法会	4月 第2日曜日
盆施餓鬼会	7月 第1日曜日
秋彼岸会	彼岸中の日曜日
月並会	11月 第3日曜日

【お問い合わせ】

阿弥陀寺
〒444-3435
愛知県岡崎市桜形町前田13
TEL 0564-84-2034

▲600年分の過去帳
(霊簿)

◀開山龍藝上人坐像



◀本堂



◀市指定文化財「当麻曼荼羅」